

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-304649

(43) 公開日 平成7年(1995)11月21日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K	7/48			
	7/00	J		
		C		
		D		
		W		

審査請求 有 請求項の数32 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平7-107674	(71) 出願人	392002620 ロレアル
(22) 出願日	平成7年(1995)5月1日		フランス・エフ-75008パリ・リュ ロワイヤル14
(31) 優先権主張番号	94 05537	(72) 発明者	オリビエ・ドゥ・ラシャリエール
(32) 優先日	1994年5月5日		フランス・75015・パリ・リュ・エドモン・ロジェール・6
(33) 優先権主張国	フランス (F R)	(72) 発明者	リオネル・ブリトン
			フランス・78000・ヴェルサイユ・リュ・ドゥ・サトリ・14
		(74) 代理人	弁理士 志賀 正武 (外2名)

(54) 【発明の名称】 化粧品組成物においてサブスタンスPアンタゴニストを使用する使用方法およびその組成物

(57) 【要約】

【構成】 本発明は、敏感肌を治療するために使用される化粧品組成物においてサブスタンスPアンタゴニストを使用するサブスタンスPアンタゴニストの使用方法に関する。

【効果】 本発明によれば、皮膚過敏、剥離、紅斑、異常／過熱感覚、そう痒感を、防止および／または対抗することが可能である。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 敏感肌を治療するために、化粧品として許容される媒体を含有する組成物において、サブスタンスPアンタゴニストを使用することを特徴とするサブスタンスPアンタゴニストの使用方法。

【請求項 2】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、カプサイシンまたは逆行性神経興奮により引き起こされる、血管壁からのプラズマの管外遊出を減少させる物質であることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用方法。

【請求項 3】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、サブスタンスPの投与により引き起こされる平滑筋の収縮阻害を誘導する物質であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の使用方法。

【請求項 4】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、ペプチド類、および、少なくとも 1 つの窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物類の中から選択されることを特徴とする、請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

【請求項 5】 前記ペプチドが、センダイドまたはスパンタイドIIであることを特徴とする、請求項 4 に記載の使用方法。

【請求項 6】 前記少なくとも 1 つの窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物が、2-トリシクリル-2-アミノエタンの誘導体、スピロラクタムの誘導体、キヌクリジンの誘導体、アザシクロ誘導体、アミノピロリジンの誘導体、ピペリジンの誘導体、アミノアザヘテロ環化合物、またはイソインドールの誘導体から選択されることを特徴とする、請求項 4 に記載の使用方法。

【請求項 7】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.000001重量%から5重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

【請求項 8】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.0001重量%から0.1重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

【請求項 9】 化粧品として許容される媒体が、水性または水-アルコール性溶液、油中水形または水中油形エマルジョン、マイクロエマルジョン、水性ゲル、無水ゲル、血清、または、小胞性分散物であることを特徴とする、請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

【請求項 10】 前記組成物が、抗バクテリア剤、抗寄生虫剤、抗菌剤、抗炎症剤、抗痒疹剤、麻酔剤、抗ウイルス剤、角質溶解剤、抗フリーラジカル剤、抗皮脂剤、ふけ止め剤、にきび止め剤、および/または、皮膚分化、増殖、および/または、色素沈着調節剤の中から選択される少なくとも 1 つの薬剤を含有することを特徴とする、請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

【請求項 11】 前記薬剤が、リドカイン=クロロハイドラート、または、非ステロイド系抗寄生虫剤または抗炎症剤であることを特徴とする、請求項 10 に記載の使用方法。

【請求項 12】 皮膚過敏、剥離、紅斑、異常感覚、過熱感覚、および/または、皮膚の痒みに対して防止および/または対抗するために、サブスタンスPアンタゴニストを、化粧品組成物に使用することを特徴とする、サブスタンスPアンタゴニストの使用方法。

10 【請求項 13】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、カプサイシンまたは逆行性神経興奮により引き起こされる、血管壁からのプラズマの管外遊出を減少させる物質であることを特徴とする、請求項 12 に記載の使用方法。

【請求項 14】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、サブスタンスPの投与により引き起こされる平滑筋の収縮阻害を誘導する物質であることを特徴とする、請求項 12 または 13 に記載の使用方法。

20 【請求項 15】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、ペプチド類、および、少なくとも 1 つの窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物類の中から選択されることを特徴とする、請求項 12 ないし 14 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

【請求項 16】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.000001重量%から5重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 12 ないし 15 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

30 【請求項 17】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.0001重量%から0.1重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 12 ないし 16 のいずれか 1 項に記載の使用方法。

【請求項 18】 化粧品として許容される媒体中にサブスタンスPアンタゴニストを含有する組成物を、皮膚、髪、および/または、粘膜類に適用することを特徴とする、美容処理方法。

40 【請求項 19】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、カプサイシンまたは逆行性神経興奮により引き起こされる、血管壁からのプラズマの管外遊出を減少させる物質であることを特徴とする、請求項 18 に記載の美容処理方法。

【請求項 20】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、サブスタンスPの投与により引き起こされる平滑筋の収縮阻害を誘導する物質であることを特徴とする、請求項 18 または 19 に記載の美容処理方法。

50 【請求項 21】 前記サブスタンスPアンタゴニストが、ペプチド類、および、少なくとも 1 つの窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物類の中から選択されることを特徴とする、請求項 18 ないし 20 のいずれか 1 項に

記載の美容処理方法。

【請求項 2 2】 前記サブスタンス P アンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.000001 重量%から 5 重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 1 8 ないし 2 1 のいずれか 1 項に記載の美容処理方法。

【請求項 2 3】 前記サブスタンス P アンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.0001 重量%から 0.1 重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 1 8 ないし 2 2 のいずれか 1 項に記載の美容処理方法。

【請求項 2 4】 化粧品として許容される媒体と、刺激性副作用を付与する少なくとも 1 つの活性成分とを含有する化粧品組成物であって、前記組成物が、サブスタンス P アンタゴニストを含有することを特徴とする、化粧品組成物。

【請求項 2 5】 前記サブスタンス P アンタゴニストが、カプサイシンまたは逆行性神経興奮により引き起こされる、血管壁からのプラズマの管外遊出を減少させる物質であることを特徴とする、請求項 2 4 に記載の化粧品組成物。

【請求項 2 6】 前記サブスタンス P アンタゴニストが、サブスタンス P の投与により引き起こされる平滑筋の収縮阻害を誘導する物質であることを特徴とする、請求項 2 4 または 2 5 に記載の化粧品組成物。

【請求項 2 7】 前記サブスタンス P アンタゴニストが、ペプチド類、および、少なくとも 1 つの窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物類の中から選択されることを特徴とする、請求項 2 4 ないし 2 6 のいずれか 1 項に記載の化粧品組成物。

【請求項 2 8】 前記サブスタンス P アンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.000001 重量%から 5 重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 2 4 ないし 2 7 のいずれか 1 項に記載の化粧品組成物。

【請求項 2 9】 前記サブスタンス P アンタゴニストが、組成物の全重量に対して、0.0001 重量%から 0.1 重量%までの間の量で使用されることを特徴とする、請求項 2 4 ないし 2 8 のいずれか 1 項に記載の化粧品組成物。

【請求項 3 0】 刺激性副作用を付与する活性成分が、 α -ヒドロキシ酸類、 β -ヒドロキシ酸類、 α -ケトン酸類、 β -ケトン酸類、レチノイド類、アントラリン類、アントラノイド類、過酸化物質、ミノキシジル、リチウム塩類、抗代謝物質、およびビタミン D、およびこれらの誘導体から選択されることを特徴とする、請求項 2 4 ないし 2 9 のいずれか 1 項に記載の化粧品組成物。

【請求項 3 1】 前記化粧品組成物が、抗バクテリア剤、抗寄生虫剤、抗菌剤、抗炎症剤、抗痒疹剤、麻酔剤、抗ウイルス剤、角質溶解剤、抗フリーラジカル剤、

抗皮脂剤、ふけ止め剤、にきび止め剤、および／または、皮膚分化、増殖、および／または、色素沈着調節剤の中から選択される少なくとも 1 つの薬剤を含有することを特徴とする、請求項 2 4 ないし 3 0 のいずれか 1 項に記載の化粧品組成物。

【請求項 3 2】 敏感肌を特定するための組成物調製において、カプサイシンを使用することを特徴とする、カプサイシンの使用方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、敏感肌の治療に用いられる化粧品組成物においてサブスタンス P アンタゴニストを使用するサブスタンス P アンタゴニストの使用方法および化粧品組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】敏感肌が存在することは知られているが、これまで敏感肌の徴候はあまり特徴づけられるものがなく、したがって、ほとんど問題視されていなかった。如何なるプロセスが皮膚の鋭敏度に係わるかは、正確には誰も知らなかった。敏感肌は化粧品に反応すると考える専門家もいれば、化粧品と必ずしも係わりがあるわけではない多くの外部要因に反応するとする専門家もいた。

【0003】敏感肌を特定するために、多くのテストが試みられていた。たとえば、これらのテストは、刺激物であるとして知られている乳酸と DMSO を使用して行われた。(たとえば、文献: K. Lammintausta et al., Dermatoses, 1988, 36, pp. 45-49、および、文献: T. Agner and J. Serup, Clinical and Experimental Dermatology, 1989, 14, pp. 214-217 参照。)しかしながら、これらのテストでは、敏感肌を特徴づけることは不可能であった。

【0004】さらに、敏感肌はアレルギー性皮膚にも似ていると考えられていた。敏感肌の特徴があまり知られていなかったため、これまでその治療は非常に困難であるとされていた。皮膚は、間接的に、たとえば化粧品化合物における界面活性剤類、防腐剤、および香料類等の刺激物の使用を制限することによって治療された。

【0005】

【発明が解決しようとする課題、課題を解決するための手段および作用】本出願人は、多くの臨床テストを行い、敏感肌における徴候を定義可能にした。これらの徴候は特に、本質的には主観的なもの、すなわち異常感覚であり、皮膚領域において、多かれ少なかれ痛み感覚であり、たとえば、ひりひり感、刺すような痛み、痒みまたはそう痒感、灼熱感、過熱感、不快感、引っ張り感等の感覚である。本出願人はまた、敏感肌はアレルギー性皮膚ではないことを示すことができた。実際、アレルギー性皮膚は、外部薬剤、すなわちアレルギー反応の引き金となるアレルゲンと反応するものである。アレルギー

反応は、アレルゲンが存在するときのみに起こり、敏感な主体を冒さない、免疫学的プロセスである。出願人の見解によれば、敏感肌の基本的な特徴は、これに対して、個々（たとえ他よりもより早く敏感肌を反応させると考えられる個々であるとしても）に影響を与えることの可能な外部要因への反応メカニズムである。このメカニズムは、免疫学的ではなく、外面的なものである。

【0006】本出願人はこれまで、敏感肌が2つの臨床的なグループ、すなわち、過敏性および／または反応性皮膚と、耐容性のない皮膚とに分けられることを発見した。過敏性および／または反応性皮膚は、そう痒によって、すなわち痒みやひりひり感によって、種々の要因、たとえば環境、感情、食物、風、摩擦、シェービング、石鹸、界面活性剤類、高い石灰岩濃度の硬水、温度変化、またはウール等の要因に反応する。一般的には、これらの前兆は、上皮外層の剥離の有無にかかわらず、乾燥肌に、または、紅班を呈する皮膚に伴うものである。耐容性のない皮膚は、過熱感、引っ張り感、刺すような痛み、および／または赤みがでることによって、種々の要因、たとえば環境、感情、および食物等の要因に反応する。一般的には、これらの前兆は、上皮外層の剥離の有無にかかわらず、過脂漏症またはにきびを有する皮膚に、または紅班を呈する皮膚に伴うものである。

【0007】“敏感な”頭皮は、より特有症候の臨床的徴候を有する：そう痒感および／またはひりひり感または過熱感、基本的には局部的要因、たとえば摩擦、石鹸、界面活性剤類、石灰岩濃度の高い硬水、シャンプー類またはローション類によって引き起こされるものである。これらの感覚は、時には環境、感情、および／または食物等の要因によっても引き起こされる。ふけの存在および程度と同様、頭皮の紅班および過脂漏症は、しばしば上記徴候を伴うものである。さらに、解剖学的構造の領域、たとえば、主な屈曲領域（ものつけね、生殖器、わきの下、ひかがみ、および乳腺下領域、および、肘の屈曲部）および足において、特に、汗、摩擦、ウール、界面活性剤類、石灰岩濃度の高い硬水、および／または温度変化に関連して、敏感肌は、痒疹および／または異常感覚（過熱感、ひりひり感）が発生するものである。

【0008】皮膚が敏感であるか否かを定めるため、出願人はまた、テストを行った。実際、敏感肌を定めるための多くのテストを行った結果、出願人は驚くべきことに、敏感肌を有する人と、カプサイシンの局所適用に反応する人との間に関連性があることを見出した。カプサイシンテストは、皮膚の約4平方センチメートルの範囲に、0.075%の濃度のカプサイシンを含有するクリームを0.05ml塗布し、この塗布による発現した主観的徴候、たとえばひりひり感、灼熱感、および痒み等を記することにより行われる。敏感肌の人においては、これらの徴候は、適用後、3分から20分までの間に発

現し、次いで適用領域の周辺部において紅班が現われ始める。

【0009】これまで、カプサイシンは、薬剤として、特に帯状ヘルペスによる痛みの治療用薬剤として使用されている。カプサイシンは、表皮と真皮における末端神経から発出する神経ペプチド、特にタキキニン類の放出を起こすものである。出願人は、敏感肌の全ての状態に対して共通する物理病理学的プロセスが、皮膚において、タキキニン類、より詳細にはサブスタンスPを放出する顕著な能力に関連することを見出した。これらの放出により起こる異常感覚の発現は、“神経原性”という。サブスタンスPは、末端神経により製造されて放出される化学的ポリペプチドであり、タキキニン類に属するものである。サブスタンスPは特に、痛み伝達および中枢神経系疾患、たとえば不安および精神分裂病、呼吸性疾患、炎症性疾患、胃腸疾患、およびリウマチ性疾患、およびある皮膚障害、たとえば湿疹等に作用する。

【0010】出願人は、敏感肌の基本的な特徴が、サブスタンスPの放出に関連しており、したがって、サブスタンスPアンタゴニスト類を使用すれば、敏感肌の防止および／または治療効果を付与することが可能であることを見出した。したがって出願人は、敏感肌を治療するために、サブスタンスPアンタゴニストを使用することを考え出した。実際、出願人は驚くべきことに、化粧品組成物にサブスタンスPアンタゴニストを組み入れると、皮膚における刺激、異常感覚、およびそう痒感を防止することが可能であることを見出した。したがって、本発明は、敏感肌を治療するために、化粧品として許容される媒体を含有する組成物において、サブスタンスPアンタゴニストを使用することを特徴とする使用方法に関する。

【0011】本発明はさらに、皮膚過敏、剥離、紅班、異常感覚、過熱感覚、および／または、皮膚の痒みに対して防止および／または対抗するために、サブスタンスPアンタゴニストを、化粧品組成物に使用することを特徴とする、サブスタンスPアンタゴニストの使用法に関する。化粧品として許容される媒体とは、皮膚、爪、および髪と適合する媒体である。サブスタンスPアンタゴニストを含有する組成物は、顔、首、髪、および爪、または体の他の皮膚領域にも適用可能である。

【0012】サブスタンスPアンタゴニストとして認められるためには、サブスタンスが、以下の特徴部を有していなければならない：

－タキキニン類におけるNK1レセプター類への選択的親和性；

－薬学的サブスタンスPアンタゴニスト作用；すなわち、以下の2つのテストのうちの少なくとも1つにおいて一貫した薬学的反応を誘導するものでなければならない；

－アンタゴニストサブスタンスは、カプサイシンまたは

10

20

30

40

50

逆行性神経興奮により引き起こされる、血管壁からのプラズマの管外遊出を減少させなければならない、または、

ーアンタゴニストサブスタンスが、サブスタンスPの投与により引き起こされる平滑筋の収縮阻害を誘導しなければならない。

【0013】これまで、サブスタンスPアンタゴニストは、上記疾患を治療するのに使用されており、参照文献としては以下のものが挙げられる：US-A-4472305、US-A-4839465、EP-A-101929、EP-A-333174、EP-A-336230、EP-A-394989、EP-A-443132、EP-A-498069、EP-A-515681、EP-A-517589、WO-A-92/22569、GB-A-2216529、EP-A-360390、EP-A-429366、EP-A-430771、EP-A-499313、EP-A-514273、EP-A-514274、EP-A-514275、EP-A-514276、EP-A-520555、EP-A-528495、EP-A-532456、EP-A-545478、EP-A-558156、WO-A-90/05525、WO-A-90/05729、WO-A-91/18878、WO-A-91/18899、WO-A-92/12151、WO-A-92/15585、WO-A-92/17449、WO-A-92/20676、WO-A-93/00330、WO-A-93/00331、WO-A-93/01159、WO-A-93/01169、WO-A-93/01170、WO-A-93/06099、WO-A-93/09116、EP-A-522808、およびWO-A-93/01165。

【0014】これまで、サブスタンスPと敏感肌との関連性を確立したものはいなかった。敏感肌の臨床的徴候は主に、主観的なもの、たとえば、ひりひり感、刺すような痛み、痒み、過熱感、および引っ張り感等の感覚であり、これらは時には紅斑を伴うものである。これらの徴候は、特別な外部要因によるものであり、本質的には、顔、首、および頭皮に局部的に発現し、全身に発現する場合もある。本発明によるサブスタンスPアンタゴニストは、ペプチド、または、窒素系非ペプチド誘導体、より詳細にはベンゼン環に直接または間接的に結合した窒素原子または窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物であってもよい。

【0015】本発明によれば、サブスタンスPアンタゴニストペプチドとして、たとえば、センダイド (sendide) またはスパンタイド (spantide) IIを使用してもよい。センダイドは、式：

Tyr D-Phe Phe D-His Leu Met NH₂

(式中、Tyrは、チロシンであり、D-Pheは、D-フェニルアラニンであり、Pheは、フェニルアラニンであり、D-Hisは、D-ヒスチジンであり、Leuは、ロイシンであり、Metは、メチオニンである) で表わされる。スパン

タイドIIは、式：

D-NicLys Pro 3-Pal Pro D-Cl₂Phe Asn D-Trp Phe D-Trp Leu Nle NH₂

(式中、D-NicLysは、D-リシン=ニコチナートであり、Pholは、プロリンであり、3-Palは、3-ピリジルアラニンであり、D-Cl₂Pheは、D-ジクロロフェニルアラニンであり、Asnは、アスパラギンであり、D-Trpは、D-トリプトファンであり、Pheは、フェニルアラニンであり、Leuは、ロイシンであり、Nleは、ノルロイシンである) で表わされる。

【0016】本発明によれば、サブスタンスPアンタゴニストペプチドはまた、以下の文献に記載されたペプチド類であってもよい：US-A-4472305、US-A-4839465、EP-A-101929、EP-A-333174、EP-A-336230、EP-A-394989、EP-A-443132、EP-A-498069、EP-A-515681、EP-A-517589、WO-A-92/22569、GB-A-2216529。本発明により使用可能な非ペプチドサブスタンスPアンタゴニスト類としては、特に、ベンゼン環に直接または間接的に結合した窒素原子または窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物が挙げられる。

【0017】ヘテロ環化合物としては、本発明によれば、以下の文献：EP-A-360390、EP-A-429366、EP-A-430771、EP-A-499313、EP-A-514273、EP-A-514274、EP-A-514275、EP-A-514276、EP-A-520555、EP-A-528495、EP-A-532456、EP-A-545478、EP-A-558156、WO-A-90/05525、WO-A-90/05729、WO-A-91/18878、WO-A-91/18899、WO-A-92/12151、WO-A-92/15585、WO-A-92/17449、WO-A-92/20676、WO-A-93/00330、WO-A-93/00331、WO-A-93/01159、WO-A-93/01169、WO-A-93/01170、WO-A-93/06099、およびWO-A-93/09116に記載されたヘテロ環化合物類が挙げられる。特に、少なくとも1つの窒素系ヘテロ環化合物を含有する化合物としては、2-トリシクリル-2-アミノエタンの誘導体、スピロラクタムの誘導体、キヌクリジンの誘導体、アザシクロ誘導体、アミノピロリジンの誘導体、ピペリジンの誘導体、アミノアザヘテロ環化合物、またはイソインドールの誘導体が挙げられる。

【0018】ベンゼン核に直接または間接的に結合した窒素原子を含有する化合物に関しては、以下の文献：EP-A-522808およびWO-A-93/01165に記載された化合物類が挙げられる。本発明による組成物においては、サブスタンスPアンタゴニストは、組成物の全重量に対して、0.000001重量%から5重量%

10

20

30

40

50

までの間の量で、特に、組成物の全重量に対して、0.0001重量%から0.1重量%までの間の量で使用されることが好ましい。本発明による組成物は全て、局部適用としての通常使用される生薬形態であり、特にローションまたは血清タイプの分散物または溶液、水相中への脂肪相の分散(H/E)または逆相(E/H)により調製された液状または半液状ミルクエマルジョン類、または、柔軟な粘度度を有するクリームタイプまたはゲルタイプエマルジョン類、または、微粒子類または小胞性イオンまたは非イオン分散物類の形態で存在可能である。これらの組成物は、常法にしたがって調製される。

【0019】本発明による組成物はまた、アルコール性または水-アルコール性水溶液類の形態で、またはクリーム類、ゲル類、エマルジョン類、またはフォーム類、または圧縮推進剤含有のエアゾール組成物類として、髪に適用されてもよい。本発明による組成物における種々の成分の量は、本分野で通常使用される量である。該組成物は、特に、顔、手、足、主な解剖学的構造の屈曲領域、または、体の、洗浄用、保護用、治療用、ケア用クリーム、(たとえば、デイ・アンド・ナイトクリーム、

メイクアップ落としクリーム、ファンデーションクリーム、およびサンスクリーンクリーム)、リキッドファンデーション、メイクアップ落としローション、保護またはスキンケアボディローション、サンスクリーンローション、スキンケアローション、ゲル、またはフォーム、たとえば、クレンジング、サンスクリーン、および人工日焼けローション、風呂用製剤、殺菌剤含有デオドラント組成物、アフターシェーブゲルまたはローション、脱毛クリーム、および虫さされおよび痛み止め用を使用される組成物として調製される。

【0020】本発明による組成物はまた、石鹸(sap, cleansing bars)用に使用される固体調製物からなってもよい。さらに、該組成物は、圧縮推進剤を含有するエアゾール組成物としてパッケージ可能である。サブスタンスPアンタゴニストはまた、種々のヘアケア組成物、特に、シャンプー、セトリローション、トリートメントローション、ヘアークリームまたはゲル、カラーリングシャンプーの形態である可能性の高いカラーリング組成物(特に酸化染料剤)、髪用再構成ローション、パーマメント組成物(特にパーマメントの第1段階用組成物)、髪抜け防止ローションおよびゲル等に添加されてもよい。

【0021】本発明による化粧品組成物はまた、口に使用されてもよく、たとえば歯磨きペーストとして使用可能である。この場合、組成物は、口に入れられる組成物用の通常の添加物、特に、界面活性剤類、増粘剤類、ぬれ剤類、シリカなどの研磨剤類、フッ化物、特にフッ化ナトリウム等の種々の活性成分類、および、糖酸ナトリウムなどの甘味剤類を含有可能である。本発明による組成物がエマルジョンである場合には、脂肪相の比率は、

組成物の全重量に対して、5重量%から80重量%、好ましくは5重量%から50重量%の範囲であってもよい。エマルジョンにおいて使用されるオイル類、乳化剤類、および補助乳化剤類は、化粧品分野において通常使用されるものの中から選択される。乳化剤類および補助乳化剤類は、組成物の全重量に対して、0.3重量%から30重量%までの間、好ましくは、0.5重量%から30重量%までの間で存在するものである。さらに、エマルジョンは、脂質性小胞体を含む可能である。

【0022】常法では、本発明による化粧品組成物はまた、化粧品に慣習的に使用される添加剤類、たとえば水吸収性または親油性ゲル化剤類、水吸収性または親油性活性成分類、防腐剤、酸化防止剤類、溶媒類、香料類、充填剤類、遮へい剤類、およびカラーリング物質類を含む可能である。これらの種々の添加剤類の量は、通常化粧品において使用されている量であり、たとえば、組成物の全重量に対して、0.01重量%から10重量%である。該添加剤類は、その性質に応じて、脂肪相、水相、および/または脂質性球状体に添加可能である。本発明において使用可能なオイル類に関しては、鉱油類(ワセリン油)、植物油類(カリテ(karite)ナッツバターの液状成分、ひまわり油)、動物油類(パーヒドロスクアレン)、合成油類(ブルセリン油)、シリコン含有油類(シクロメチコーン)、および、フッ素化油類(パーフルオロポリエーテル類)が挙げられる。脂肪アルコール類および脂肪酸類(ステアリン酸)が、これらのオイル類に添加可能である。

【0023】本発明により使用可能な乳化剤類としては、たとえば、グリセロール=ステアラート、ポリソルバート60、および、ガッテフォッセ(Gattefosse)社から商標名テフォーセ(Tefose)63として販売されているPEG-6/PEG-32/グリコール=ステアラート混合物が挙げられる。本発明に使用可能な溶媒類としては、低級アルコール類、特にエタノールおよびイソプロパノールが挙げられる。水吸収性ゲル化剤類としては、カルボキシビニルポリマー類(カルボメル)、アクリルコポリマー類、たとえばアクリラート/アルキルアクリラートコポリマー類、ポリアクリルアミド類、多糖類、たとえばヒドロキシプロピルセルロース、天然ゴム類、およびクレイ類が挙げられ；親油性ゲル化剤類としては、変性クレイ類、たとえばベントナイト類および脂肪酸の金属塩類、たとえばアルミニウムステアラート類および疎水性シリカが挙げられる。

【0024】水吸収性活性成分類としては、タンパク質類およびタンパク質加水分解物類、アミノ酸類、ポリアルコール類、尿素、アラントイン、糖類およびその誘導体、ビタミン類、およびヒドロキシ酸類が挙げられる。親油性活性成分類としては、レチノール(ビタミンA)およびその誘導体、トコフェロール(ビタミンE)およびその誘導体、必須脂肪酸類、セラミド類、精油類、お

よびサリチル酸およびその誘導体が挙げられる。サブスタンスPアンタゴニスト類は、特に皮膚障害の防止および／または治療用活性成分類と組み合わせることが可能である。

【0025】該活性成分類としては、たとえば：
 ー皮膚分化、増殖、および／または、色素沈着調節剤類、たとえば、レチノイン酸およびその異性体、レチノールおよびそのエステル、ビタミンDおよびその誘導体、エストロゲン類、たとえばエストラジオール、コウジ酸およびヒドロキノン；
 ー抗バクテリア剤類、たとえば、クリンダマイシン＝ホスファート、エリスロマイシン、テトラサイクリン類に属する抗生物質；
 ー抗寄生虫剤類、特にメトロニダゾール、クロタミトン、およびピレスリノイド類；
 ー抗菌剤類、特にイミダゾール類に属する化合物類、たとえば、エコナゾール、ケトコナゾール、またはミコナゾールおよびそれらの塩類、ポリエン化合物類、たとえばアンホテリシンB、アリルアミン類に属する化合物類、たとえばテルビナフィンおよびオクトピロックス；
 ー抗炎症ステロイド剤類、たとえば、ヒドロコチゾン、ベタメタゾン＝バレート、クロベタゾール＝プロピオナート、または、非ステロイド系抗炎症剤類、たとえばイブプロフェンおよびその塩類、ジクロフェナックおよびその塩類、アセチルサリチル酸、アセトアミノフェン、およびグリシルレチン (glycyrrhetic) 酸；
 ー麻酔剤類、たとえばリドカイン＝クロルハイドラートおよびその誘導体；
 ー抗痒疹剤類、たとえばテナルジン、トリメブラジン、およびシプロヘプタジン；
 ー抗ウイルス剤類、たとえばアシクロビル；
 ー角質溶解剤類、たとえば、 α -および β -ヒドロキシカルボン酸および β -ケトカルボン酸、および、これらの塩類、アミド類、およびエステル類、特に、ヒドロキシ酸類、たとえば、グリコール酸、乳酸、サリチル酸、およびクエン酸、および、一般的には、果物酸類、およびn-オクタノイル-5-サリチル酸；
 ー抗フリーラジカル剤類、たとえば、 α -トコフェロールおよびそのエステル類、スーパーオキシド＝ジスムターゼ類、ある種の金属キレート剤類、およびアスコルビン酸およびそのエステル類；
 ー抗皮脂剤類、たとえばプロゲステロン；
 ーふけ止め製品類、たとえば、オクトピロックスおよびジンクピリチオン；
 ーにきび止め製品類、たとえば、レチノイン酸または過酸化ベンゾイル。

* 【0030】実施例2

メイクアップ落としフェースローション	
ーセンダイド	0.0001
ー酸化防止剤	0.05
ーイソプロパノール	40.00

* 【0026】サブスタンスPアンタゴニスト類は、優位には刺激性副作用を付与し、化粧品分野において広く使用されている活性成分類と組み合わせる。刺激性副作用を付与する活性成分含有の化粧品組成物においてアンタゴニストを存在させることによって、該刺激性副作用を減少させ、実際には除去することが可能となるものである。したがって、本発明はまた、化粧品として許容される媒体と、刺激性副作用を付与する少なくとも1つの活性成分とを含有する組成物であって、前記組成物が、サブスタンスPアンタゴニストを含有することを特徴とする化粧品組成物に関する。

【0027】特に、刺激性副作用を示す活性成分類は、 α -ヒドロキシ酸類、 β -ヒドロキシ酸類、 α -ケトン酸類、 β -ケトン酸類、レチノイド類、アントラリン類、アントラノイド類、過酸化物質類、ミノキシジル、リチウム塩類、抗代謝物類、およびビタミンD、およびこれらの誘導体から選択される。本発明はさらに、化粧品として許容される媒体中に少なくとも1つのサブスタンスPを含有する上記組成物が、皮膚、髪、および／または、粘膜に適用されることを特徴とする美容処理方法にも関する。本発明による美容処理方法は、該組成物に関する常法にしたがって、特に、上記特定したような衛生的組成物または化粧品組成物を適用することにより行うことができる。たとえば、クリーム類、ゲル類、血清類、ローション類、メイクアップ落としローション類、または、サンスクリーン組成物を、皮膚または乾燥した髪に適用したり、濡れた髪にヘアローション、シャンプー類を適用したり、または、歯磨ペーストを歯茎に適用してもよい。

【0028】本発明はまた、敏感肌を特定するための組成物調製において、カプサイシンを使用することを特徴とする、カプサイシンの使用方法、および、カプサイシンを含有する組成物を皮膚に適用することからなる、敏感肌認識方法に関する。本発明を、以下の実施例において、詳細に説明する。実施例中における比率は、重量%である。

【0029】

【実施例】

実施例1

メイクアップ落としフェースローション	
ーспанタイドII	5.00
ー酸化防止剤	0.05
ーイソプロパノール	40.00
ー防腐剤	0.30
ー水	合計100%

* 【0030】実施例2

-防腐剤	0.30
-水	合計100%

【0031】実施例3

フェースケアゲル	
-スパンタイドII	0.05
-ヒドロキシプロピルセルロース (ハーキュレス社から販売されているクルーセル (Klucel) H)	1.00
-酸化防止剤	0.05
-イソプロパノール	40.00
-防腐剤	0.30
-水	合計100%

【0032】実施例4

フェースケアゲル	
-センダイド	0.04
-ヒドロキシプロピルセルロース (ハーキュレス社から販売されているクルーセル (Klucel) H)	1.00
-酸化防止剤	0.05
-イソプロパノール	40.00
-防腐剤	0.30
-水	合計100%

【0033】実施例5

フェースケアクリーム (水中油形エマルジョン)	
-スパンタイド	0.02
-グリセロール=ステアラート	2.00
-ポリソルバート60 (ICI社から販売されているツイーン (Tween) 60)	1.00
-ステアリン酸	1.40
-トリエタノールアミン	0.70
-カルボメール	0.40
-カリテナツツバターの液体成分	12.00
-パーヒドロスクアレン	12.00
-酸化防止剤	0.05
-香料	0.5
-防腐剤	0.30
-水	合計100%

【0034】実施例6

シャンプー	
-スパンタイドII	0.02
-ヒドロキシプロピルセルロース (ハーキュレス社から販売されているクルーセル (Klucel) H)	1.00
-香料	0.50
-防腐剤	0.30
-水	合計100%

【0035】実施例7

アンチ・リントルフェースクリーム (水中油形エマルジョン)	
-センダイド	0.15
-グリセロール=ステアラート	2.00
-ポリソルバート60 (ICI社から販売されているツイーン (Tween) 60)	1.00
-ステアリン酸	1.40

-n-オクタノイル-5-サリチル酸	0.50
-トリエタノールアミン	0.70
-カルボメール	0.40
-カリテナツツバターの液体成分	12.00
-パーヒドロスクアレン	12.00
-酸化防止剤	0.05
-香料	0.50
-防腐剤	0.30
-水	合計 100%

【0036】実施例 8

10

シランブー	
-センダイド	0.003
-ヒドロキシプロピルセルロース (ハーキュレス社から販売されているクルーセル (Klucel) H)	1.00
-香料	0.50
-防腐剤	0.30
-水	合計 100%

【0037】実施例 9

虫さされ用乳化ゲル (水中油形エマルション)	
-シクロメチコーン	3.00
-プルセリン油 (ドラゴッコ (Dragocco) 社から販売)	7.00
-PEG-6/PEG-32/グリセロール=ステアラート (ガッテフォーセ (Gattefosse) 社から販売されている商標名テフォーセ (Tefose))	0.30
-スパンタイドII	0.02
-防腐剤	0.30
-香料	0.40
-カルボメール	0.60
-クロタミトン	5.00
-グリシルレチン (glycyrrhetic) 酸	2.00
-エチルアルコール	5.00
-トリエタノールアミン	0.20
-水	合計 100%

【0038】実施例 10

痛み止めゲル	
-スパンタイドII	0.03
-ヒドロキシプロピルセルロース (ハーキュレス社から販売されているクルーセル (Klucel) H)	1.00
-酸化防止剤	0.05
-リドカイン=クロロハイドラート	2.00
-イソプロパノール	40.00
-防腐剤	0.30
-水	合計 100%

【0039】実施例 11

にきび止めしゅさフェースクリーム (水中油形エマルション)	
-スパンタイドII	0.25
-グリセロール=ステアラート	2.00
-ポリソルバート 60 (ICI社から販売されているツイーン (Tween) 60)	1.00

－ステアリン酸	1. 40
－メトロニダゾール	1. 00
－トリエタノールアミン	0. 70
－カルボメール	0. 40
－カリテナッツバターの液体成分	12. 00
－ワセリン油	12. 00
－酸化防止剤	0. 05
－香料	0. 50
－防腐剤	0. 30
－水	合計 100%

【0040】実施例 12

抗太陽光線紅斑クリーム（水中油形エマルション）

－スパンタイドII	0. 25
－グリセロール＝ステアラート	2. 00
－ポリソルバート 60（ICI社から販売されているツイーン（Tween）60）	1. 00
－ステアリン酸	1. 40
－グリシルレチン（glycyrrhetic）酸	2. 00
－トリエタノールアミン	0. 70
－カルボメール	0. 40
－カリテナッツバターの液体成分	12. 00
－ひまわり油	10. 00
－酸化防止剤	0. 05
－香料	0. 50
－防腐剤	0. 30
－水	合計 100%

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁶
A 61 K 45/00識別記号
A E D

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

United States Patent
De La Charriere et al.

(10) Patent No.: US 6,333,042 B1
(45) Date of Patent: *Dec. 25, 2001

(54) USE OF A SUBSTANCE P ANTAGONIST IN A COSMETIC COMPOSITION, AND THE COMPOSITION THUS OBTAINED

(75) Inventors: Olivier De La Charriere, Paris; Lionel Breton, Versailles, both of (FR)

(73) Assignee: Societe L'Oreal S.A., Paris (FR)

(*) Notice: Subject to any disclaimer, the term of this patent is extended or adjusted under 35 U.S.C. 154(b) by 0 days.

This patent is subject to a terminal disclaimer.

(21) Appl. No.: 09/584,724

(22) Filed: Jun. 1, 2000

Related U.S. Application Data

(63) Continuation of application No. 08/881,272, filed on Jun 24, 1997, now Pat. No. 6,203,803, which is a continuation of application No. 08/338,562, filed on Dec. 14, 1994, now abandoned.

Foreign Application Priority Data

(30) May 5, 1994 (FR) 94 05537

(51) Int. Cl. A61K 7/00; A61K 7/15;

(52) U.S. Cl. A61K 7/16; A61K 7/155; A61K 7/32;

424/63; 424/76.1; 514/15; 514/210; 514/293;

514/305; 514/315; 514/410; 514/416; 514/422;

514/844; 514/845; 514/846; 514/847; 514/848;

514/880; 514/881

(58) Field of Search 424/401, 49, 70.1;

424/59, 63, 76.1; DIG. 1, 514/315, 210,

293, 305, 315, 410, 416, 422, 844-846,

880, 881

References Cited

U.S. PATENT DOCUMENTS

3,266,934 Reas et al.

3,772,431 11/1973 Milroy et al.

3,888,976 6/1975 Milroy et al.

4,377,439 10/1984 D'Alorio

4,941,432 7/1990 Borel

4,980,184 12/1990 Gordon

4,986,981 1/1991 Glaze et al.

5,047,409 6/1991 Di Salvo et al.

5,079,010 1/1992 Naurer

5,091,171 21/1992 Yu et al.

5,202,130 41/1993 Grant et al.

5,393,902 1/1997 Adams et al.

5,627,187 5/1997 Kay

5,658,581 6/1997 de Lacharriere

5,679,360 10/1997 de Lacharriere

US 6,333,042 B1
*Dec. 25, 2001

FOREIGN PATENT DOCUMENTS

320,639 A1 12/1983 (DE).

333,895 5/1985 (DE).

362,746 A1 21/1988 (DE).

028,069 7/1990 (DE).

029,706 1/1992 (DE).

021,795 4/1987 (EP).

029,945 A2 1/1989 (EP).

030,390 3/1990 (EP).

040,503 4/1990 (EP).

042,936 8/1991 (EP).

043,960 8/1991 (EP).

045,980 12/1991 (EP).

046,156 A2 12/1991 (EP).

052,268 7/1992 (EP).

051,4273 11/1992 (EP).

052,055 12/1992 (EP).

052,2808 A2 1/1993 (EP).

052,8495 2/1993 (EP).

054,478 6/1993 (EP).

056,029 3/1994 (EP).

061,525 8/1994 (EP).

066,8075 A2 10/1997 (FR).

5394 6/1978 (FR).

218,4890 4/1994 (GB).

227,174 11/1994 (EP).

635,626 4/1983 (WO).

8301,252 10/1986 (WO).

8701,935 12/1991 (WO).

9405,729 12/1991 (WO).

9118,890 7/1993 (WO).

9301,165 1/1993 (WO).

9301,159 1/1993 (WO).

9301,160 1/1993 (WO).

9301,169 1/1993 (WO).

9301,170 1/1993 (WO).

9304,040 3/1993 (WO).

9314,084 7/1993 (WO).

9610,182 6/1996 (WO).

9619,183 6/1996 (WO).

9619,184 6/1996 (WO).

9619,228 6/1996 (WO).

OTHER PUBLICATIONS

Dufrel et al., *Chemical Abstracts*, vol. 116, 1992, No. 13599h.

A.W. Johnson and D.J. Page, 700-IFSOO, Yokiyama (Hoster).

Le Fur et al., 11th International Symposium on Bioengineering and the Skin, Zurich, Switzerland, Oct. 2-5, 1996, entitled "The Facial Stinging Test: A Biophysical Analysis on 'Stingers' and 'Non-Stingers'".

Bianchi et al., abstract of *J. Eur. Acad. Dermatol. Venerol.*, 1999 Jan 12 (1):6-10.

Francomano et al., *Contact Dermatitis* 36:152-155 (2000).

"Sensitive Skin is Not a Subclinical Expression of Contact Allergy", a paper by O. de Lacharriere, R. Jourdain, P. Bastien and J.L. Garrigue of L'Oreal.

Groot et al., *International Journal of Cosmetic Science* 9:255-259 (1988).

Isachar et al., *Contact Dermatitis* 36:152-155 (1997).

Seidenari et al., *Contact Dermatitis* 38:311-313 (1998).

Basketter et al., *Contact Dermatitis* 32:65-73 (1995).

Lacy et al., *J. Biomedical Materials Research* 32:279-283 (1996).

Yosipovich, *Series A Dermatologic View C&T*, vol. 114, No. 1, Jan. 1999.

Nuonduan Igaku Dai-jiten, p. 842, 2.

Foreman, *Int. Archs Allergy appl. Immun.* 82: 366-371 (1987).

Walling et al., *Neurotransmissions*, vol. VIII, No. 3, Sep. 1992.

Sakurada et al., *Brain Research*, 593 (1992), 319-322.

Wallingen, *British Journal of Dermatology* (1991) 124: 324-328.

Wallingen et al., *Contact Dermatitis* 1988, 19: 351-354.

Moussou et al., *Br. J. Pharmacol.* (1993), 109: 259-264.

Loiti et al., *J. Am. Acad. Dermatol.* 1994, 30: 232-235.

Eedy, *Brit J. Dermat.* (1993) 128, S.597-605.

Lowie III DN&P (1992) 5(4), S. 223-228.

Jancso-Gabur, "Action of rare earth metal complexes on neurogenic as well as on bradykinin-induced inflammation", *J. Pharm. Pharmac.*, 22: 366-371 (1970).

"La peau sensible, un authentique syndrome clinique", *Le Quotidien du Medecin*, No. 5747, Dec. 6, 1995; *Cosmetologie, Therapeutique*, No. 1511, Dec. 17, 1995.

Uy Dung Sohu et al., "Agonist-Independent, Muscle-Type-Specific Signal Transduction Pathways in Cat Esophageal and Lower Esophageal Sphincter Circular Smooth Muscle", *J. of Pharmacology & Experimental Therapeutics*, 273:481-491 (1995).

US 6,333,042 B1
Page 2

Mitsuo Ishizawa, "Contractile Responses of Longitudinal Muscle Strip to 5-HT and Influences of Divalent Cations in the Guinea-Pig Isolated Colon", *J. Smooth Muscle Res.*, 30:65-72 (1994).

II. Goodman, *Cosmetic Dermatology*, First Edition, Fourth Impression, p. 181 (1936).

Martindale, The Extra Pharmacopoeia, Twenty-seventh Edition, The Pharmaceutical Press, London, pp. 219, 1775 and 1814 (1977).

McGraw-Hill Dictionary of Scientific and Technical Terms, Fifth Edition, pp. 109 and 332.

Sohn et al., Different Receptors Activate a Different Single G-Protein in Esophageal (G13) and in LES (Gq) Circular Smooth Muscle, *Gastroenterology*, vol. 104, (1993), A585.

S.M. Moussou et al., *Br. J. Pharmacol.*, "A non-peptide NK₁-receptor antagonist, RP 67580, inhibits neurogenic inflammation postsynaptically", vol. 109, No. 1, 1993, pp. 239-265.

J. Wallengen, *Br. J. Dermatol.*, "Substance P antagonist inhibits immediate and delayed type cutaneous hypersensitivity reactions", vol. 124, No. 4, 1991, pp. 324-328.

J. Wallengen et al., *Contact Dermatitis*, "Some neuro-peptides as modulators of experimental contact allergy", vol. 19, No. 5, 1988, pp. 351-354.

T. Loiti et al., *J. Am. Acad. Dermatol.*, "Treatment of aquagenic pruritus with topical capsaicin cream", vol. 30, No. 2P11, Feb. 1994, pp. 232-235.

T. Sakurada et al., *Brain Res.*, "A selective and extremely potent antagonist of the neurokinin-1 receptor", vol. 593, No. 2, 1992, pp. 319-322.

K. Folkers et al., *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*, "Spanide II, an effective lachykinin antagonist having high potency", vol. 87, No. 12, 1990, pp. 4833-4835.

Maison G. deNaware, *The Chemistry and Manufacture of Cosmetics*, 2nd Ed. vol. IV, p1261 (1975).

Alexander A. Fisher, "Irritant Reactions from Topical Urea Preparations Used for Dry Skin Advantages of a Urea-Free 'Dead Sea Salt' Cream", *Current Contact News*, vol. 16, pp761-772 (1976).

The United States Pharmacopeia, "Alumina-Drug Substances and Dosage Form", pp20 and 22 (1975).

Nordia Briefs, "A Salt-Containing Cream for Dry Skin", No. 484, Jan. 1978.

Cosmetic Counter, vol. 109, (Oct. 1994).

de Lacharriere et al., "Sensitive skin is not a subclinical expression of contact allergy", in *Contact Dermatitis*, 44, 131-132 (2001), published by Munksgaard, Copenhagen.

the body (e.g., day and night creams, make-up removal foundations, foundation creams, and sunscreens), liquid emulsions, make-up removal lotions, protective or skin-care body lotions, sunscreen lotions, skin-care lotions, gels, or foams, such as cleansing, sunscreen, and artificial tanning lotions, bath preparations, deodorant compositions containing a bactericide, after-shave gels or lotions, depilatory creams, and compositions used for insect stings and against pain.

The compositions according to the invention may also consist of solid preparations used for soaps and cleansing bars.

In addition, these compositions can be packaged as aerosol compositions also containing a pressurized propulsive agent.

The substance P antagonist may also be incorporated into various hair-care compositions, in particular shampoos, setting lotions, treatment lotions, hair creams or gels, coloring compositions (in particular oxidation dyes) potentially in the form of coloring shampoos, restructuring lotions for the hair, permanent compositions (in particular compositions for the first stage of a permanent), anti-hair loss lotions and gels, etc.

The cosmetic compositions according to the invention may also be used by mouth, e.g., in toothpastes. In this case, the compositions can contain conventional additives for compositions taken by mouth, in particular surfactants, thickeners, wetting agents, polishing agents such as silica, various active ingredients such as fluorides, in particular sodium fluoride, and potentially, sweeteners such as sodium saccharate.

When the composition according to the invention is an emulsion, the proportion of the fatty phase may range from 5% to 80% by weight, and preferably from 5% to 50% by weight of the total weight of the composition. The oils, emulsifiers, and coemulsifiers used in the emulsion are chosen among those conventionally used in the cosmetic field. The emulsifier and coemulsifier are present in the composition in a proportion of between 0.3% and 30% by weight, and preferably between 0.5% and 30% by weight of the total weight of the composition. Moreover, the emulsion may contain lipidic vesicles.

In conventional fashion, the cosmetic composition according to the invention may also contain additives customarily used in cosmetics, such as water-absorbent or lipophilic gelling agents, water-absorbent or lipophilic active ingredients, preservatives, antioxidants, solvents, perfumes, fillers, screens, and coloring substances. The quantities of these various additives are those conventionally used in cosmetics; for example, from 0.01% to 10% of the total weight of the composition. These additives may, depending on the nature thereof, be added to the fatty phase, the aqueous phase, and/or in lipidic spherules.

As regards the oils that can be used according to the invention, mention may be made of mineral oils (vaseline oil), vegetable oils (liquid fraction of karite nut butter, sunflower oil), animal oils (perhydrocyclohexene), synthetic oils (Purcellin oil), silicone-containing oils (cyclomethicone), and fluorinated oils (perfluoropolyethers). Fatty alcohols and fatty acids (stearic acid) can be added to these oils.

Emulsifiers usable according to the invention include, for example, glycerol stearate, polysorbate 60, and the PEG-6-PEG-32-glycol stearate mixture sold under the trade name Tefose[®] 63 by the Gattefosse Company.

Solvents usable according to the invention include the lower alcohols, in particular ethanol and isopropanol.

As regards the water-absorbent gelling agents, mention may be made of carboxyvinyl polymers (carbomer), acrylic copolymers such as acrylate/alkylacrylate copolymers, polyacrylamides, polysaccharides, such as hydroxypropylcellulose, natural gums, and clays; and, as regards lipophilic gelling agents, modified clays such as bentonites and the metallic salts of fatty acids, such as aluminum stearates and hydrophobic silica.

The water-absorbent active ingredients include proteins and protein hydrolyzates, amino acids, polyalcohols, urea, allantoin, sugars, and sugar derivatives, vitamins, and hydroxy acids.

The lipophilic active ingredients include retinol (vitamin A) and the derivatives thereof, tocopherol (vitamin E) and the derivatives thereof, essential fatty acids, ceramides, essential oils, and salicylic acid and the derivatives thereof.

Substance P antagonists may be combined, among other products, with active ingredients intended, in particular, for the prevention and/or treatment of skin disorders.

These active ingredients include, for example:

agents modulating the differentiation, proliferation, and/or skin pigmentation, such as retinoic acid and the isomers thereof, retinol and the esters thereof, vitamin D and the derivatives thereof, estrogens such as estradiol, kojic acid and hydroquinone;

antibacterial agents such as clindamycin phosphate, erythromycin, antibiotics belonging to the group of tetracyclines;

antiparasitic agents, in particular metronidazole, crontium, and pyrethroids;

antifungal agents, in particular the compounds belonging to the imidazoles, such as econazole, ketoconazole, or miconazole and the salts thereof, the polyene compounds, such as amphotericin B, compounds belonging to the group of allylamines, such as terbinafine and octopirox; anti-inflammatory steroid agents, such as hydrocortisone, beamlthasone valerate, clobetasol propionate, or non-steroid anti-inflammatory agents such as ibuprofen and the salts thereof, diclofenac and the salts thereof, acetylsalicylic acid, acetaminophen, and glycyrrhetic acid; anesthetic agents, such as lidocaine, chlorhydrate and the derivatives thereof;

anti-pruriginous agents, such as itraconazole, trimetopazine, and cyproheptadine;

antiviral agents, such as acyclovir;

keratolytic agents, such as alpha- and beta-hydroxycarboxylic and beta-ketocarboxylic acids, the salts, amides, and esters thereof, and, more especially, hydroxy acids, such as glycolic, lactic, salicylic, and citric acid, and, in general fruit acids, and n-octanoyl-5-salicylic acid;

anti-free radical agents, such as alpha-tocopherol and the esters thereof, superoxide dismutases, some chelating agents of metals, and ascorbic acid and the esters thereof; anti-scorbutha agents, such as Progestrone;

anti-dandruff products, such as octopirox and zinc pyrithione;

acne-fighting products, such as retinoic acid or benzoyl peroxide.

Substance P antagonists are advantageously combined with active ingredients producing irritant side effects and widely used in the cosmetics field. The presence of an antagonist in a cosmetic composition containing an active ingredient producing an irritant effect makes it possible to attenuate, and indeed to eliminate, this irritant effect.

Accordingly, the invention also concerns a composition

one active ingredient producing an irritant side effect, characterized by the fact that it contains a substance P antagonist. In particular, the active ingredients exhibiting irritant side effects are chosen from among the α -hydroxy acids, the β -hydroxy acids, the α -ketoic acids, the β -ketoic acids, retinoids, anilamines, antraniloxides, peroxides, minoxidil, lithium salts, amines, and vitamin D and the derivatives thereof.

The present invention further relates to a cosmetic treatment process characterized by the fact that a composition such as that described above and containing at least one substance P antagonist in a cosmetically-acceptable medium is applied on the skin, hair, and/or the mucous membranes.

The cosmetic treatment process according to the invention can be implemented, in particular, by applying hygienic or cosmetic compositions such as those specified above, in accordance with method of use normal for these compositions. For example: the application of creams, gels, serums, lotions, make-up removal lotions or sunscreen compositions on the skin or on dry hair, application of a hair lotion on wet hair, shampoos, or application of toothpaste on the gums. The invention also concerns the use of capsacin for preparing a composition intended to identify sensitive skin, and a process for identifying sensitive skin, which consists in applying a composition containing capsacin on the skin. The following examples illustrate the invention. In these examples, the proportion indicated are ponderal proportions.

EXAMPLE 1

Make-up Removal Face Lotion

Spanide II	5.00
Antioxidant	0.05
Isopropanol	4.00
Preservative	0.30
Water	qsp 100%

EXAMPLE 2

Make-up Removal Face Lotion

Spanide II	0.0001
Antioxidant	0.05
Isopropanol	40.00
Preservative	0.30
Water	qsp 100%

EXAMPLE 3

Facial Care Gel

Spanide II	0.05
Hydroxypropylcellulose	1.00
Antioxidant	0.05
Isopropanol	40.00
Preservative	0.30
Water	qsp 100%

EXAMPLE 4

Facial Care Gel

Spanide II	0.04
Hydroxypropylcellulose	1.00
Antioxidant	0.05
Isopropanol	40.00
Preservative	0.30
Water	qsp 100%

EXAMPLE 5

Facial Care Cream (Oil-in-water Emulsion)

Spanide II	0.02
Glycerol stearate	2.00
Polysorbate 60	1.00
(Twice sold by the ICI Company)	
Stearic acid	1.40
Triethanolamine	0.70
Carbomer	0.40
Liquid fraction of karite nut butter	12.00
Perhydrocyclohexene	12.00
Antioxidant	0.05
Perfume	0.5
Preservative	0.30
Water	qsp 100%

EXAMPLE 6

Shampoo

Spanide II	0.02
Hydroxypropylcellulose	1.00
Antioxidant	0.05
Perfume	0.50
Preservative	0.30
Water	qsp 100%

EXAMPLE 7

Anti-Wrinkle Facial Cream (Oil-in-water Emulsion)

Spanide II	0.15
Glycerol stearate	2.00
Polysorbate 60	1.00
(Twice sold by the ICI Company)	
Stearic acid	1.40
n-octanoyl-5-salicylic acid	0.50
Triethanolamine	0.70
Carbomer	0.40
Liquid fraction of karite nut butter	12.00
Perhydrocyclohexene	12.00
Antioxidant	0.05
Perfume	0.50
Preservative	0.30
Water	qsp 100%

EXAMPLE 8

Anti-Solar Erythema Cream (Oil-in-water Emulsion)

Shampoo	Spanide II	0.003	0.25
	Hydroxypropylcellulose	1.00	2.00
	Glycerol myristate		1.00
	Polymerize 60		1.00
	(Tweez 60 sold by the ICI Company)		
	Scentic acid	0.50	1.40
	(Glycidylsuccinic acid	2.00	
	Tributoxanone	0.30	0.70
	Carbomer		0.40
	Liquid fraction of lauric nut butter		12.00
	Stabilizer oil	10.00	
	Perfluorinated	0.50	
	Preservative	0.30	
	Water	qsp 100%	

EXAMPLE 9

Emulsified Gel To Fight Insect Stings (Oil-in-water Emulsion)

Cyclomethicone	3.00	20	advised for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:
Purcellin oil	7.00		(1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having sensitive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist, wherein said irritant substance is an active agent in said topical cosmetic regimen;
(sold by the Diagecco Company)			(2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when said composition is utilized in a topical cosmetic regimen;
PEG-40PEG-32/Glycerol Stearate	0.30	30	
(Tweez 60 sold by the ICI Company)			
Spanide II	0.02		
Hydroxypropylcellulose	0.30		
Purcellin oil	0.40		
Carbomer	0.50		
Liquid fraction of lauric nut butter	2.00		
Ethyli alcohol	5.00		
Triethanolamine	0.20		
Water	qsp 100%		

EXAMPLE 10

Pain-Fighting Gel

Spanide II	0.05	40
Hydroxypropylcellulose	1.00	
Anoxizone (Kneel H, sold by the Hercules Company)	0.05	
Limonene chlorhydrate	2.00	
Isopropylal	40.00	45
Preservative	0.30	
Water	qsp 100%	

EXAMPLE 11

Anti-Acne Rosacea Face Cream (Oil-in-water Emulsion)

Spanide II	0.25	55
Glyxol myristic	2.00	
Polyorbite 60	1.00	
(Tweez 60 sold by the ICI Company)		
Scentic acid	1.40	
Methylsiloxane	1.00	60
Carbomer	0.40	
Liquid fraction of lauric nut butter	12.00	
Stabilizer oil	10.00	
Perfluorinated	0.50	
Purpure	0.50	
Preservative	0.30	65
Water	qsp 100%	

(3) a cosmetically acceptable medium; wherein said topically applicable cosmetic composition comprises a galenic formulation which is a solution or dispersion formulated as a lotion or serum, microgranulate or water-in-oil emulsion, foam, aerosol, solid or paste.

3. A topically applicable cosmetic composition which is adapted for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:

(1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having sensitive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist, and wherein said irritant substance is an active agent in said said topical cosmetic regimen;

(2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when said composition is utilized in a topical cosmetic regimen on a user having sensitive skin, wherein said substance P antagonist is a substance which possesses at least one of the following characteristics:

(i) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:

(a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and

(b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

(3) a cosmetically acceptable medium;

wherein said topically applicable cosmetic composition suitable for use in a cosmetic regimen is selected from the group consisting of a hair care composition, skin care composition, cleansing composition, sunscreen composition, and a mouth care composition.

4. A topically applicable cosmetic composition which is adapted for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:

(1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having sensitive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist, and wherein said irritant substance is an active agent in said said topical cosmetic regimen;

(2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when said composition is utilized in a topical cosmetic regimen on a user having sensitive skin, wherein said substance P antagonist is a substance which possesses at least one of the following characteristics:

(i) it exhibits a selective affinity for the NK₁ receptors on the tachykinins; and

(ii) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:

(a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and

(b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

(3) a cosmetically acceptable medium;

wherein said topically applicable cosmetic composition suitable for use in a cosmetic regimen is selected from the group consisting of a hair care composition, skin care composition, cleansing composition, sunscreen composition, and a mouth care composition.

5. A topically applicable cosmetic composition which is adapted for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:

(1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having sensitive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist, and wherein said irritant substance is an active agent in said said topical cosmetic regimen;

(2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when said composition is utilized in a topical cosmetic regimen on a user having sensitive skin, wherein said substance P antagonist is a substance which possesses at least one of the following characteristics:

(i) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:

(a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and

(b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

(3) a cosmetically acceptable medium;

wherein said topically applicable cosmetic composition comprises a galenic formulation which is a solution or dispersion formulated as a lotion or serum, microgranulate dispersion, vesicular tonic or non-ionic dispersion, alcoholic or hydroalcoholic aqueous solution, cream, gel, oil-in-water or water-in-oil emulsion, foam, aerosol, solid or paste.

6. A topically applicable cosmetic composition which is adapted for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:

(1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having sensitive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist, wherein said irritant substance is an active agent in said said topical cosmetic regimen;

(2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when said composition is utilized in a topical cosmetic regimen on a user having sensitive skin, wherein said substance P antagonist is a substance which possesses at least one of the following characteristics:

(i) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:

(a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and

(b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

(3) a cosmetically acceptable medium;

7. A topically applicable cosmetic composition which is adapted for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:

(1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having sensitive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist, wherein said irritant substance is an active agent in said said topical cosmetic regimen;

(2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when

said composition is utilized in a topical cosmetic regimen on a user having reactive skin, wherein said substance P antagonist is a substance which possesses at least one of the following characteristics:

- (i) it exhibits a selective affinity for the NK₁ receptors on the tachykinins; and
- (ii) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:

- (a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and
- (b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

- (3) a cosmetically acceptable medium; wherein said topically applicable cosmetic composition comprises a galenic formulation which is a solution or dispersion formulated as a lotion or serum, microgranulate dispersion, vesicular ionic or non-ionic dispersion, alcoholic or hydroalcoholic aqueous solution, cream, gel, oil-in-water or water-in-oil emulsion, foam, aerosol, solid or paste.

8. A topically applicable cosmetic composition which is adapted for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:

- (1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having reactive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist; and wherein said irritant substance is an active agent in said said topical cosmetic regimen;
- (2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when said composition is utilized in a topical cosmetic regimen on a user having reactive skin, wherein said substance P antagonist is a substance which possesses at least one of the following characteristics:

- (i) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:
- (a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and
- (b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

- (3) a cosmetically acceptable medium; wherein said topically applicable cosmetic composition comprises a galenic formulation which is a solution or dispersion formulated as a lotion or serum, microgranulate dispersion, vesicular ionic or non-ionic dispersion, alcoholic or hydroalcoholic aqueous solution, cream, gel, oil-in-water or water-in-oil emulsion, foam, aerosol, solid or paste.

11. The composition of claim 3, wherein said hair care composition is selected from the group consisting of a shampoo, styling lotion, treatment lotion, hair cream, hair gel, coloring composition, restructuring lotion, permanent composition, anti-hair loss lotion and anti-hair loss gel.

12. The composition of claim 4, wherein said hair care composition is selected from the group consisting of a shampoo, styling lotion, treatment lotion, hair cream, hair gel, coloring composition, restructuring lotion, permanent composition, anti-hair loss lotion and anti-hair loss gel.

13. The composition of claim 3, wherein said hair care composition is in a galenic form selected from the group consisting of a cream, gel, emulsion, foam and aerosol.

14. The composition of claim 4, wherein said hair care composition is in a galenic form selected from the group consisting of a cream, gel, emulsion, foam and aerosol.

15. The composition of claim 3, wherein said cosmetic composition is a cleansing cream, skin protecting or skin treatment cream, make-up removal cream, foundation cream, sunscreen composition, liquid foundation, make-up removal lotion, protective or skin care lotion, skin care gel, skin care foam, bath preparation, deodorant composition, after-shave gel or lotion, depilatory cream, composition for alleviating insect sting, soap or cleansing bar.

(ii) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:

- (a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and
- (b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

- (3) a cosmetically acceptable medium; wherein said topically applicable cosmetic composition suitable for use in a cosmetic regimen is selected from the group consisting of a hair care composition, skin care composition, cleansing composition, sunscreen composition and a mouth care composition.

10. A topically applicable cosmetic composition which is adapted for use in a cosmetic regimen that comprises topical application of said composition to at least one of the skin, hair, or mucous membranes, which composition comprises:

- (1) an amount of at least one irritant substance sufficient to elicit an irritant side effect to a user having reactive skin when utilized in a topical cosmetic regimen that does not include the use of a substance P antagonist; wherein said irritant substance is an active agent in said topical cosmetic regimen;
- (2) an amount of at least one substance P antagonist sufficient to prevent or alleviate said irritation when said composition is utilized in a topical cosmetic regimen on a user having reactive skin, wherein said substance P antagonist is a substance which possesses at least one of the following characteristics:

- (i) it elicits a pharmacological response in at least one of the following tests:
- (a) it reduces the extravasation of plasma through the vascular wall caused by capsaicin or antidromic nerve excitation; and
- (b) it inhibits the contraction of smooth muscle induced by substance P; and

- (3) a cosmetically acceptable medium; wherein said topically applicable cosmetic composition comprises a galenic formulation which is a solution or dispersion formulated as a lotion or serum, microgranulate dispersion, vesicular ionic or non-ionic dispersion, alcoholic or hydroalcoholic aqueous solution, cream, gel, oil-in-water or water-in-oil emulsion, foam, aerosol, solid or paste.

11. The composition of claim 3, wherein said hair care composition is selected from the group consisting of a shampoo, styling lotion, treatment lotion, hair cream, hair gel, coloring composition, restructuring lotion, permanent composition, anti-hair loss lotion and anti-hair loss gel.

12. The composition of claim 4, wherein said hair care composition is selected from the group consisting of a shampoo, styling lotion, treatment lotion, hair cream, hair gel, coloring composition, restructuring lotion, permanent composition, anti-hair loss lotion and anti-hair loss gel.

13. The composition of claim 3, wherein said hair care composition is in a galenic form selected from the group consisting of a cream, gel, emulsion, foam and aerosol.

14. The composition of claim 4, wherein said hair care composition is in a galenic form selected from the group consisting of a cream, gel, emulsion, foam and aerosol.

15. The composition of claim 3, wherein said cosmetic composition is a cleansing cream, skin protecting or skin treatment cream, make-up removal cream, foundation cream, sunscreen composition, liquid foundation, make-up removal lotion, protective or skin care lotion, skin care gel, skin care foam, bath preparation, deodorant composition, after-shave gel or lotion, depilatory cream, composition for alleviating insect sting, soap or cleansing bar.

16. The composition of claim 4, wherein said cosmetic composition is a cleansing cream, skin protecting or skin treatment cream, make-up removal cream, foundation cream, sunscreen composition, liquid foundation, make-up removal lotion, protective or skin care lotion, skin care gel, skin care foam, bath preparation, deodorant composition, after-shave gel or lotion, depilatory cream, composition for alleviating insect sting, soap or cleansing bar.

17. The composition of claim 3, wherein said mouth care composition is a toothpaste.

18. The composition of claim 4, wherein said mouth care composition is a toothpaste.

19. The composition of claim 1, wherein the irritant substance is selected from the group consisting of an α -hydroxy acid, β -hydroxy acid, α -ketonic acid, β -ketonic acid, retinoid, anthranoid, peroxide, minoxidil, lithium salt, anti-metabolite and vitamin D.

20. The composition of claim 2, wherein the irritant substance is selected from the group consisting of an α -hydroxy acid, β -hydroxy acid, α -ketonic acid, β -ketonic acid, retinoid, anthranoid, peroxide, minoxidil, lithium salt, anti-metabolite and vitamin D.

21. The composition of claim 3, wherein the irritant substance is selected from the group consisting of an α -hydroxy acid, β -hydroxy acid, α -ketonic acid, β -ketonic acid, retinoid, anthranoid, peroxide, minoxidil, lithium salt, anti-metabolite and vitamin D.

22. The composition of claim 4, wherein the irritant substance is selected from the group consisting of an α -hydroxy acid, β -hydroxy acid, α -ketonic acid, β -ketonic acid, retinoid, anthranoid, peroxide, minoxidil, lithium salt, anti-metabolite and vitamin D.

23. The composition of claim 5, wherein the irritant substance is selected from the group consisting of an α -hydroxy acid, β -hydroxy acid, α -ketonic acid, β -ketonic acid, retinoid, anthranoid, peroxide, minoxidil, lithium salt, anti-metabolite and vitamin D.

24. The composition of claim 1, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.000001 to 5% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

25. The composition of claim 2, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.000001 to 5% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

26. The composition of claim 3, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.000001 to 5% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

27. The composition of claim 4, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.000001 to 5% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

28. The composition of claim 5, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.000001 to 5% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

29. The composition of claim 1, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.00001 to 0.1% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

30. The composition of claim 2, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.00001 to 0.1% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

31. The composition of claim 3, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.00001 to 0.1% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

32. The composition of claim 4, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.0001 to 0.1% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

33. The composition of claim 5, wherein the amount of the substance P antagonist ranges from 0.0001 to 0.1% by weight relative to the total weight of the cosmetic composition.

34. The cosmetic composition of claim 21, which comprises an additive selected from the group consisting of a surfactant, thickener, wetting agent, polishing agent, fluoride compound and sodium saccharinate.

35. The cosmetic composition of claim 22, which comprises an additive selected from the group consisting of a surfactant, thickener, wetting agent, polishing agent, fluoride compound and sodium saccharinate.

36. The cosmetic composition of claim 1, which is an emulsion.

37. The cosmetic composition of claim 2, which is an emulsion.

38. The cosmetic composition of claim 3, which is an emulsion.

39. The cosmetic composition of claim 4, which is an emulsion.

40. The cosmetic composition of claim 5, which is an emulsion.

41. The cosmetic composition of claim 36, wherein the proportion of fatty phase in said emulsion ranges from 5% to 80% by weight relative to the total weight of the composition.

42. The cosmetic composition of claim 37, wherein the proportion of fatty phase in said emulsion ranges from 5% to 80% by weight relative to the total weight of the composition.

43. The cosmetic composition of claim 38, wherein the proportion of fatty phase in said emulsion ranges from 5% to 80% by weight relative to the total weight of the composition.

44. The cosmetic composition of claim 39, wherein the proportion of fatty phase in said emulsion ranges from 5% to 80% by weight relative to the total weight of the composition.

45. The cosmetic composition of claim 40, wherein the proportion of fatty phase in said emulsion ranges from 5% to 80% by weight relative to the total weight of the composition.

46. The cosmetic composition of claim 36, which comprises an emulsifier and co-emulsifier.

47. The cosmetic composition of claim 37, which comprises an emulsifier and co-emulsifier.

48. The cosmetic composition of claim 38, which comprises an emulsifier and co-emulsifier.

49. The cosmetic composition of claim 39, which comprises an emulsifier and co-emulsifier.

50. The cosmetic composition of claim 40, which comprises an emulsifier and co-emulsifier.

51. The cosmetic composition of claim 46, wherein the proportion of said emulsifier and co-emulsifier ranges from 0.3 to 30% by weight relative to the total weight of the composition.

52. The cosmetic composition of claim 47, wherein the proportion of said emulsifier and co-emulsifier ranges from 0.3 to 30% by weight relative to the total weight of the composition.

53. The cosmetic composition of claim 48, wherein the proportion of said emulsifier and co-emulsifier ranges from 0.3 to 30% by weight relative to the total weight of the composition.

54. The cosmetic composition of claim 49, wherein the proportion of said emulsifier and co-emulsifier ranges from 0.3 to 30% by weight relative to the total weight of the composition.

55. The cosmetic composition of claim 50, wherein the proportion of said emulsifier and co-emulsifier ranges from 0.3 to 30% by weight relative to the total weight of the composition.

25

179. The cosmetic composition of claim 9, wherein said substance P antagonist is selected from the group consisting of a peptide, nitrogen-containing non-peptide compound and a nitrogen-containing heterocyclic compound.

180. The cosmetic composition of claim 10, wherein said substance P antagonist is selected from the group consisting

26

of a peptide, nitrogen-containing non-peptide compound and a nitrogen-containing heterocyclic compound.

* * * *